

第8回福島県双葉郡子供未来会議 実施報告

1. 主催

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会

2. 日時・場所

平成26年7月6日（日） 13:00~17:00
檜葉町立檜葉小中学校体育館（福島県いわき市）

3. 参加者

69名

- ・各町村立小中高生 24名
- ・保護者 10名
- ・教員 6名
- ・その他関係者（双葉地区教育長会、福島県教委、福島大学学生、福島大学関係者、行政関係者等）29名



4. 概要

福島県双葉郡教育復興ビジョンの具現化に向けて、双葉郡8町村の小学4年生から高校3年生までの24名が集まり、保護者10名と教職員をはじめとした教育関係者35名も加わりながら、広野町に設置される「双葉郡の中高一貫校」の学校名を決めるためのワークショップを行った。

冒頭、檜葉町矢内教育長からの挨拶、福島県教育委員会からの中高一貫校の紹介が行われた。その後、参加者は公募で集まった314枚の学校名候補が書かれたカードを、応募者の想いや名前前の印象を元に、15のグループに分類し、結果的に36の校名に候補をしぼった。分類においては、分類の『理由』を大切にしながら議論がなされた。例えば、浜通り双葉郡の自然を表すというグループには「風」「海」、「太陽」、「緑豊かな自然」を現す校名を分類し、双葉郡自体を表すグループには「愛するふるさと」「地名の合体」を現す校名を分類し、また、これからの双葉郡の未来を考えるグループには「夢」「希望」「羽ばたく」「向上」「前に進む」「未来に向かう」ことを現す校名が分類された。

候補となった学校名の選定理由としては、「人とのつながりを大切にしたいから」「前に進む感

じが出て良い」「未来に向かって羽ばたく名前としたいから」「文字の意味を考えてはばたいて輝く名前であるから」、「新しいふたばを創り出していくから」、「響きが良い」「環境問題を国際的に考えていきたいから」などと、中高一貫校に対する期待や双葉郡の教育に対する希望などの参加者の想いも込められた。

参加者からは、「意見を交換し、話し合うことが楽しかった」「双葉郡の新しい学校の名前を考えることができ、大事なことを提案できた」「今回の子供未来会議では、双葉の教育について大きく一歩前進した。皆の意見が反映された充実した時間を過ごすことができた。」といった感想が寄せられた。講評として、福島大学人間文化発達学類千葉学類長より「長い時間、新しい学校の名前を決めるという経緯に関わっていくといった貴重な経験であった。双葉郡の復興に対する希望や未来についても議論され、大事な場であった。校名を一つに選ぶことは大変難しいが、この場を共有出来たことはとても良かった。福島大学の学生もお手伝いをし、共に考えることができた。次回以降も一緒に考えていきたい」と話があった。また、福島県教育委員会大類教育総務課長からは「小学生から高校生までそれぞれ一生懸命考えてくれてありがとう。学校名を応募してくれたみなさんの気持ちを真剣に受け止め、学ぶ意味を考え、「ふたば」というふるさとを想う気持ち、「ふたば」の自然や地形を考えていくもの、また、ひらがなか漢字かというような細かいところまで真剣に考えていただきありがとう。みなさんが真剣に選んでいただいた校名候補から8月中旬に県の中で決めていきたい」と参加者への感謝の意が述べられた。

最後に、浪江町畠山教育長から、「今日はいろんな場所から参加いただき、また長い時間議論いただきありがとう。みなさんと中高一貫校の名前の議論を共有でき、とてもよかった。名前について、日本人は名前を大変大事にする。みなさんも自分の名前については、親御さんの願い・想いがたくさん込められている。物と名前は必ず一致するものであり、この新しい学校がどういう学校になってほしいかという、熱い想いがこめられたのではないか。双葉の教育について、双葉地区教育長会や福島県教育委員会等で議論を重ねてまとめた「福島県双葉郡教育復興ビジョン」の中で軸とした中高一貫校の名前を決めていくという大事な日となり、多くの人にとってビジョンがより身近なこととなった。双葉郡の教育復興により近づけた。これからも参加者のみなさんには、より興味関心をもって関わってほしい。今日は大きく一歩踏み出した会だった。」と参加者への感謝の意が述べられ、閉会となった。



《参考：参加者詳細》

○参加者 69 名

・福島県双葉郡の児童生徒及び保護者 合計 34 名

葛尾村 0名（小学生0、中学生0、高校生0、保護者0）

檜葉町 8名（小学生4、中学生4、高校生0、保護者0）

大熊町 5名（小学生0、中学生1、高校生3、保護者1）

浪江町 3名（小学生0、中学生1、高校生0、保護者2）

双葉町 3名（小学生1、中学生1、高校生0、保護者1）

広野町 5名（小学生1、中学生2、高校生0、保護者2）

川内村 1名（小学生0、中学生1、高校生0、保護者0）

富岡町 9名（小学生0、中学生4、高校生1、保護者4）

・その他関係者 35名

福島県双葉郡8町村 教育長、各町村教育委員会関係者、各町村立学校教員、事務局、

福島大学ボランティアスタッフ、福島大学関係者、福島県教委、復興庁、文部科学省 等

《参考：日程詳細》

平成26年7月6日（日）13:00～17:00

13:00～13:10 開会挨拶 檜葉町矢内教育長

13:10～13:30 福島県教委 高校教育課からの中高一貫校についての説明

13:30～16:00 KJ法による314校の学校名候補を選定

16:00～16:30 まとめ

16:30～16:40 アンケート記入

16:40～16:50 講評（福島県教委大類課長、福島大学千葉人間発達文化学類長）

16:50～17:00 閉会挨拶（浪江町島山教育長）